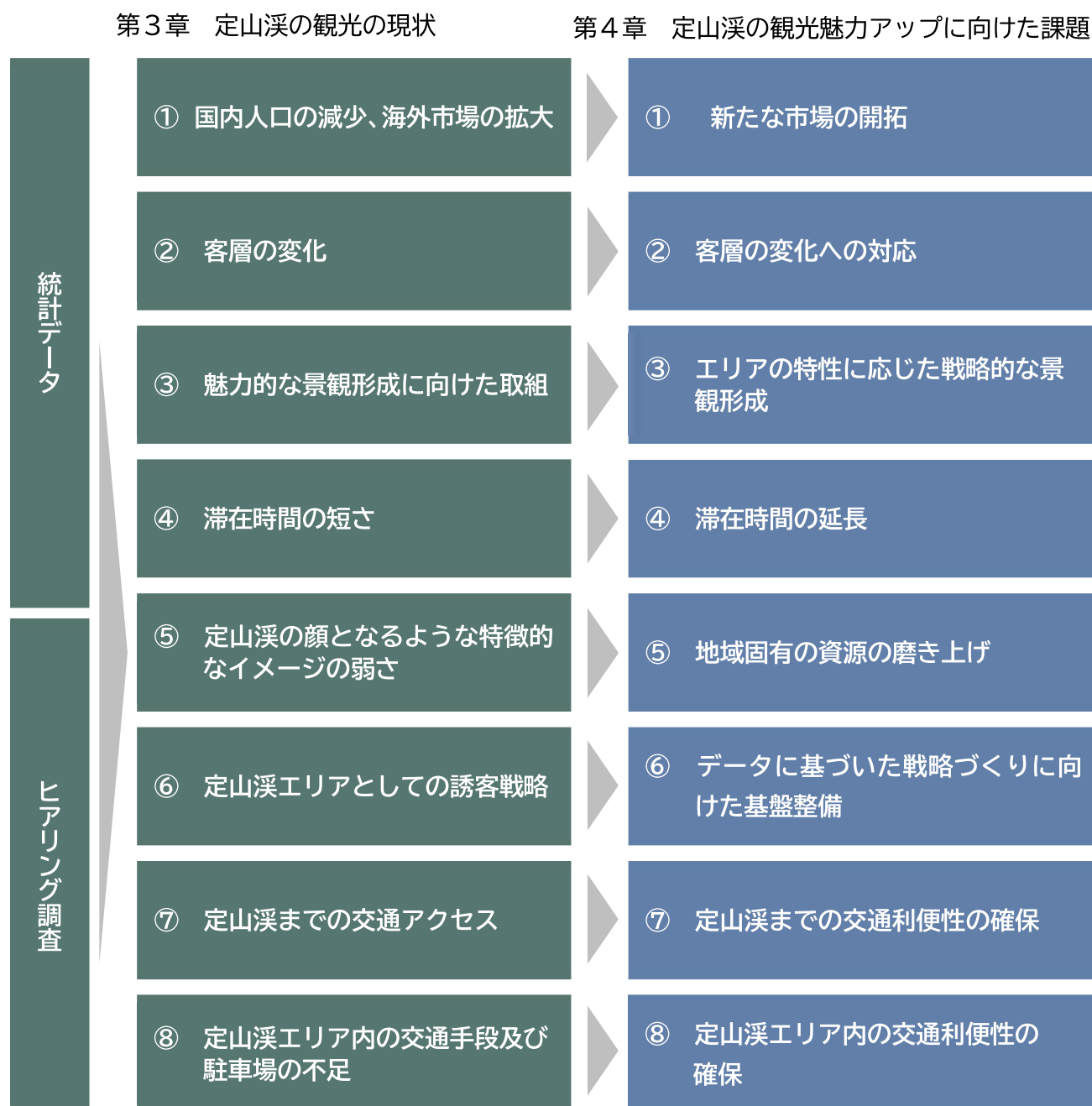


第4章

定山溪観光の課題

第3章の定山溪観光の現状を踏まえ、今後の定山溪の観光魅力アップに向けて、以下の課題への対応が求められます。



① 新たな市場の開拓

札幌市民をはじめとした北海道民に古くから親しまれてきた定山溪ですが、需要を支えてきた道内人口は日本全体より早いペースで減少すると予測されています。今後も需要を確保していくためには、日本人観光客はもとより外国人観光客や、アクティビティやグルメなどを目的とした日帰り客の誘客拡大を含めた新たな市場開拓が必要です。

② 客層の変化への対応

個人旅行の増加や外国人観光客の来訪による客層の変化が進んでいることから、地域内にある資源を活用しながら、観光客のニーズの変化、多様化に対応した観光地づくりを進めていくことが必要です。

③ エリアの特性に応じた戦略的な景観形成

定山溪温泉街には、二見公園や三笠公園などの緑地、足湯などの休憩スポット、さらには赤岩の澗や舞鶴の瀬などの美しい溪谷、二見吊橋や定山溪大橋などの眺望スポットなど多種多様な観光資源が点在しています。

定山溪温泉街全体の魅力を高めていくためには、こうした観光資源が所在するエリア別の特性に応じて、定山溪景観まちづくり指針の考え方を反映した戦略を立て、面的に景観形成を進めることが重要です。また、景観形成は長期的な視野を持ち、継続して取組を進めていくことが重要であるため、取組を推進する体制の整備も課題です。

④ 滞在時間の延長

観光地として持続可能であるためには、様々な魅力を提供することで滞在時間を延長し、来訪客一人当たりの観光消費額の拡大を図ることが重要です。新たなコンテンツの展開や各コンテンツを組み合わせた過ごし方の提案などにより、滞在時間の延長を図る必要があります。

⑤ 地域固有の資源の磨き上げ

観光地としての定山溪の魅力を高めていくためには、他の観光地では代替できない定山溪固有の魅力をいかに高め、観光客に提供していくかという視点が重要です。そのためには、地域内にある多様な観光資源の価値を改めて見つめ直すとともに、磨き上げていくことが求められます。

⑥ データに基づいた戦略づくりに向けた基盤整備

幅広い客層が来訪する定山溪において、地域が一丸となって誘客に取り組んでいくためには、ターゲットとする客層を定めて戦略を立てる必要があります。そのためには、定山溪に訪れている来訪客のデータを的確に収集し、それを共有・分析したうえで、データに基づいた戦略を企画立案することができる体制を構築する必要があります。

⑦ 定山溪までの交通利便性の確保

路線バス等の公共交通や、宿泊施設の送迎バスの維持の困難さが増していますが、個人旅行の増加や外国人観光客の増加、沿線住民への影響などの観点も含め、定山溪までの交通アクセスの利便性の確保が課題です。

⑧ 定山溪エリア内の交通利便性の確保

来訪者に定山溪エリア内の周遊を楽しんでもらうためには、交通利便性の向上が必要です。日帰り客や宿泊前、宿泊後の方も利用できる駐車場の確保や、自家用車を利用しない層でも快適に移動できる交通手段の確保が課題です。

1 本構想のコンセプト

第3章定山溪観光の現状及び第4章定山溪観光の課題を踏まえ、令和7年（2025年）～令和16年（2034年）の10年間で、定山溪が魅力的な観光地づくりを進めるために、第2次定山溪観光魅力アップ構想では以下をコンセプトとして掲げます。

国内外の来訪者を魅了する 持続可能な温泉観光地 「札幌定山溪」

コンセプトに込められた意味

古くから札幌市民に親しまれてきた定山溪は、近年では海外からの来訪者も多く訪れるようになっていきます。ここでいう「持続可能な温泉観光地」とは、観光客と地域がともに利益を享受しながら、継続的に発展していく観光地を指します。その実現には、従来のように札幌市民に愛される存在であり続けることに加え、海外からの観光客を含め、より多様なニーズや顧客層に対応していくことが求められます。

そのために、定山溪の強みである四季折々の豊かな自然や観光スポット、多種多様な宿泊施設、北海道を代表する温泉観光地として積み重ねてきた歴史など地区内の様々な資源を磨き上げ、国内外の来訪客が豊かな時間を過ごすことができるよう、新たな時代を切り拓く創造的で魅力的な温泉観光地を目指します。

2 定山溪観光の基本方針

第3章定山溪観光の現状及び第4章定山溪観光の課題及び、前述の定山溪観光のコンセプトを踏まえ、定山溪の観光魅力アップを目指す将来像の実現に向け、新たな財源となる宿泊税の活用も見込み、以下の4つの基本方針を掲げます。

また、4つの基本方針に基づく取組を実行するに当たって、短期的に取り組む「重点施策」を設定し、魅力的な温泉観光地の実現に向けて、着実に進めていきます。

【定山溪観光の現状】

- ① 国内人口の減少、海外市場の拡大
- ② 客層の変化
- ③ 魅力的な景観形成に向けた取組
- ④ 滞在時間の短さ
- ⑤ 定山溪の顔となるような特徴的なイメージの弱さ
- ⑥ 定山溪エリアとしての誘客戦略
- ⑦ 定山溪までの交通アクセス
- ⑧ 定山溪エリア内の交通手段及び駐車場の不足

【定山溪の観光魅力アップに向けた課題】

- ① 新たな市場の開拓
- ② 客層の変化への対応
- ③ エリアの特性に応じた戦略的な景観形成
- ④ 滞在時間の延長
- ⑤ 地域固有の資源の磨き上げ
- ⑥ データに基づいた戦略づくりに向けた基盤整備
- ⑦ 定山溪までの交通利便性の確保
- ⑧ 定山溪エリア内の交通利便性の確保

コンセプト

国内外の来訪者を魅了する持続可能な温泉観光地 「札幌定山溪」

基本方針1

定山溪の魅力を
感じる街並みや
景観の維持/形成

基本方針2

エリアの特性を
活かした
コンテンツの充実

基本方針3

戦略的な
プロモーション
の展開

基本方針4

交通アクセス
の改善

■本構想における対象エリアとゾーニングについて

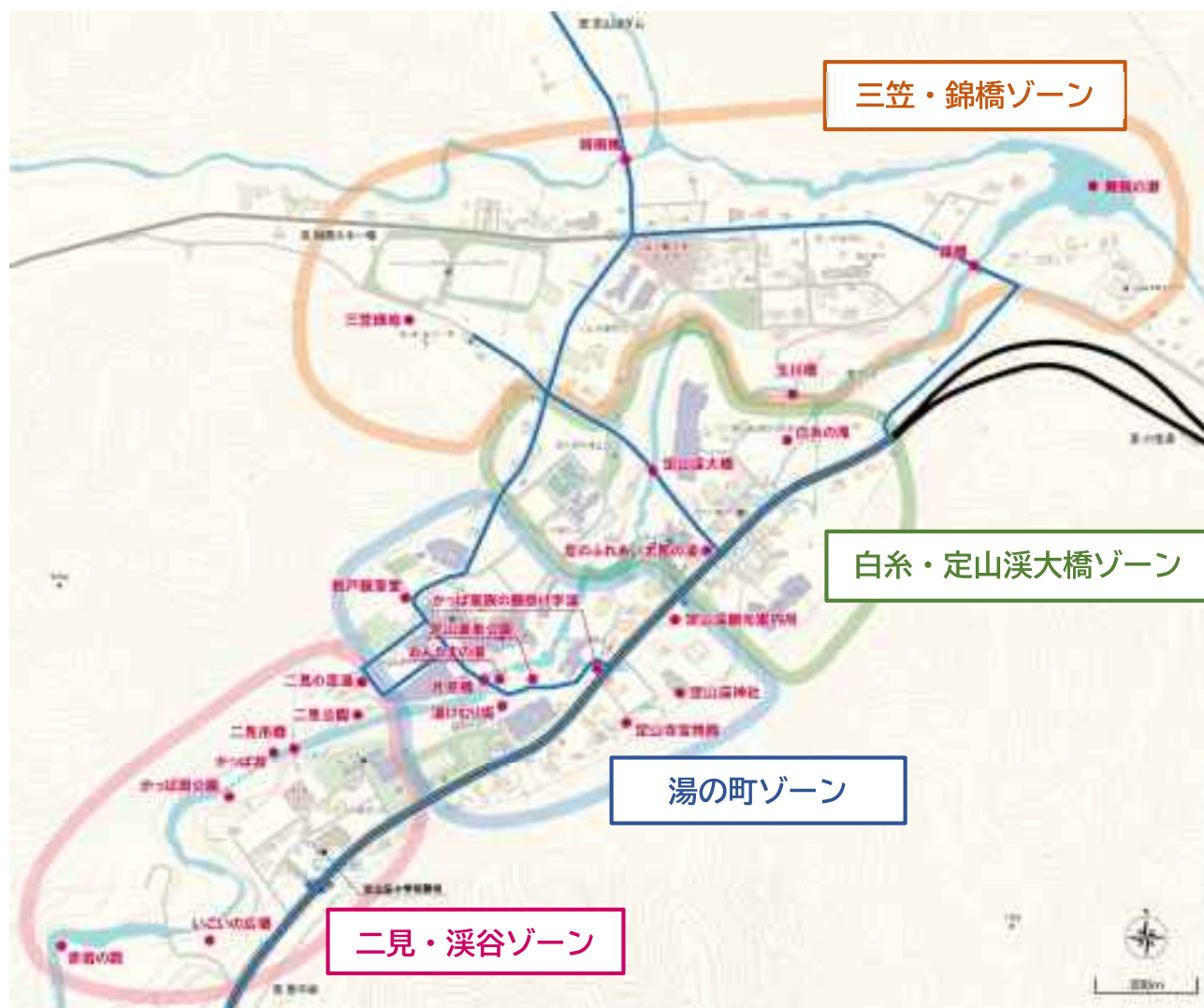
本構想では、定山溪温泉街周辺を「定山溪温泉エリア」、小金湯温泉や八剣山周辺を「小金湯・八剣山エリア」、薄別温泉や豊平峡温泉、豊平峡ダム周辺を「薄別・豊平峡エリア」、札幌国際スキー場周辺を「札幌国際スキー場エリア」と呼びます。

定山溪の中心となる「定山溪温泉エリア」は、豊かな自然景観やアクティビティを楽しめる場所、昔ながらの情緒あふれる温泉宿が軒を連ねる場所があるなど、場所によって景観や特徴が異なっていることから、特徴ごとにゾーニングすることで、本構想における景観形成やコンテンツの磨き上げといった取組をわかりやすく表します。

本構想における対象エリア



本構想では、定山溪温泉街を4つのゾーンに分け、その特徴を活かしながら、基本方針に沿った取組を進めていきます。



【二見・溪谷ゾーン】

定山溪温泉街を流れる豊平川の上流に位置しており、自然豊かな散策路「二見定山の道」や「赤岩の澗」や「かっぱ淵」といった景観スポットを有しています。「定山溪温泉かわまちづくり計画」の推進を中心とした、自然との触れ合い体験を重視したゾーンです。

【湯の町ゾーン】

定山溪中央線沿いに、旅館・ホテルが集中し、昔ながらの温泉街を形成しています。「定山溪神社」や「定山寺」、「岩戸観音堂」など歴史的背景を継承する建造物があり、湯の町の歴史を感じるゾーンです。

【白糸・定山溪大橋ゾーン】

「白糸の滝」や「足のふれあい太郎の湯」といった観光資源のほか、眺望点である「定山溪大橋」からは、溪谷と調和した温泉街の景色を眺めることができます。豊かな自然と温泉街の特色を活かした景観の維持向上を図るゾーンです。

【三笠・錦橋ゾーン】

飲食店が集積する「山ノ風マチ」のほか、「三笠緑地」、「玉川橋」、「錦橋」、アクティビティ拠点である「舞鶴の瀬」などがあり、グルメと自然が調和する賑わいと癒しを重視したゾーンです。

基本方針 1

定山溪の魅力を感じる街並みや景観の維持/形成

■ 定山溪の観光魅力アップに向けた課題

- 課題① 新たな市場の開拓
- 課題② 客層の変化への対応
- 課題③ エリアの特性に応じた戦略的な景観形成
- 課題④ 滞在時間の延長
- 課題⑤ 地域固有の資源の磨き上げ

■ 基本方針のねらい

定山溪温泉街のゾーニング及び「定山溪地区景観まちづくり指針」（平成 29 年（2017 年）策定）の考えを踏まえるとともに、「かわまちづくり計画による河畔園地の整備や景観の改善」を重点施策とし、多様な宿泊施設等を有する温泉街の街並みと豊かな自然環境が形成する景観の魅力を高め、来訪者の満足度向上や口コミなどによる波及効果の拡大を図ります。

■ 基本方針の方向性

方向性 1 豊かな自然を大切にする景観まちづくり

二見吊橋から赤岩の澗（あかいわのかん）へと続く二見定山の道をはじめ、アクティビティの拠点である舞鶴の瀬（まいづるのとり）や三笠緑地、かわまちづくり計画において整備を行う二見公園といった美しい自然景観があります。これらの景観を維持するとともに、自然を活かした観光スポットとしての魅力向上のため、景観づくりを進めます。

【取組例】

■かわまちづくり計画と連動した豊かな景観の形成

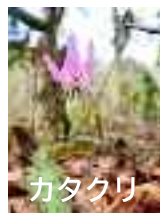
- ・かわまちづくり計画による河畔園地の整備等
- ・二見・溪谷ゾーンにおける、四季折々の自然のうつろいや、生物・山野草を楽しめる環境・景観の形成

■みどりの保全と創出

- ・「三笠緑地」や「小金湯さくらの森」など緑地空間の維持向上
- ・在来種の植栽等



エゾエンゴサク



カタクリ



ヤマモミジ

方向性2 歩いて楽しい賑わいとおもてなしを感じる景観まちづくり

来訪者がそぞろ歩きをしたくなるような景観づくりを目指し、賑わいの連続性の創出や環境美化活動を推進します。

また、季節ごとに景観を活かしたイベントを実施するほか、夜間でも景観を楽しめるよう、あかりの演出などを行います。

【取組例】

- ・指定路線や三笠・錦橋ゾーンにおける賑わいの連続性の創出（花やみどりによる演出、季節に応じた花や紅葉する樹種を選定した植栽、飲食店等の立地促進、滞留空間の設置検討等）
- ・景観誘導区域における空き地・空き家調査及び利活用に向けた検討
- ・環境美化活動（ゴミ拾い、草刈り、除雪、植栽、等）の推進と維持管理体制の検討
- ・四季の景観を活かしたイベントの推進（溪流鯉のぼり、雪灯路など）
- ・あかりの演出（屋外照明やライトアップなど）による夜間景観の創出
- ・国道230号沿い等におけるウェルカム感の醸成

方向性3 渓谷美を守り活かす景観まちづくり

「定山渓地区景観まちづくり指針」に定められている眺望点や、その他渓谷美を堪能できる場所からの景観向上を図ります。また、渓谷美を守るため、維持管理を積極的に行います。

【取組例】

- ・かわまちづくり計画に基づく護岸整備にあわせた月見橋周辺等の景観の改善及び河川敷等の利用ルール策定
- ・眺望点等からの景観に影響を及ぼす物件等の把握及び改善に向けた検討
- ・河川敷等の日常的な維持管理の強化

方向性4 湯の町の成り立ちを継承する景観まちづくり

温泉街の成り立ちを今に伝える定山溪神社や定山寺など開湯 150 年を超える定山溪温泉街の歴史を感じられる資源が残る景観を維持継承していきます。

また、湯の町ゾーンにおける和の雰囲気や温泉街らしさを感じさせる演出などの取組を推進します。

【取組例】

- ・ 定山溪神社、定山寺、岩戸観音堂など温泉街の歴史を感じる資源が残る景観の維持継承
- ・ 湯の町ゾーン内の指定路線等における和の雰囲気の演出
- ・ 温泉街らしさを感じさせる湯けむり、暖簾、行灯などによる演出

基本方針2

エリアの特性を活かしたコンテンツの充実

■ 定山溪の観光魅力アップに向けた課題

- 課題① 新たな市場の開拓
- 課題② 客層の変化への対応
- 課題④ 滞在時間の延長
- 課題⑤ 地域固有の資源の磨き上げ

■ 基本方針のねらい

「エリアやゾーンごとの特性を活かしたコンテンツや、四季折々の定山溪ならではのコンテンツの充実」を重点施策とし、多様化する観光ニーズに対応するとともに、インバウンドや日帰り客といった新たな客層の取り込みを図ります。また、様々な魅力的なコンテンツを提供することで、宿泊日数及び滞在時間の延長に繋がります。

■ 基本方針の方向性

方向性1 定山溪温泉街におけるゾーニングとコンテンツの磨き上げ

温泉街を中心とした定山溪温泉エリアにおいて、4つのゾーンの特性を活かしたコンテンツの磨き上げ、充実を図ります。

【取組例】

■ 二見・溪谷ゾーン ～自然との触れ合い体験を重視～

- ・かわまちづくり計画による河畔園地の整備等（再掲）
- ・「二見公園」、「二見定山の道」（二見吊橋～赤岩の澗）の利活用促進
- ・生物生息空間※を活用した自然体験学習の取組の検討
- ・四季折々の自然や、生物・山野草を楽しめる環境・景観の形成（再掲）
- ・アスレチック系アクティビティの検討

■ 湯の町ゾーン ～温泉街らしい和の雰囲気、歴史を重視～

- ・定山溪神社、定山寺、岩戸観音堂など温泉街の歴史を感じる資源が残る景観の維持継承（再掲）
- ・指定路線等における和の雰囲気の演出（再掲）

※ 生物生息空間：多様な生物が共生するための自然環境を人工的に再現または保全した空間。ビオトープ

- ・温泉街らしさを感じさせる湯けむりなどによる演出（再掲）
- ・月見橋からの景観の維持向上とライトアップ等の演出

■白糸・定山溪大橋ゾーン ～定山溪を象徴する眺望点を活かした景観を重視～

- ・定山溪大橋から望む溪谷と温泉街が調和した景観の維持向上、演出の検討（ライトアップ、周遊スポットとしての磨き上げなど）
- ・足のふれあい太郎の湯から、定山溪大橋、玉川橋、白糸の滝までの周遊促進

■三笠・錦橋ゾーン ～グルメと自然の調和、賑わいと癒しを重視～

- ・グルメと自然を調和させた特色あるイベントの推進
- ・錦橋・時雨橋からの景観の維持向上
- ・三笠緑地の魅力向上やアクティビティ等での利用促進に向けた検討
- ・河川敷地をアクティビティ等で利用する際のルール策定

方向性2 定山溪エリア内のコンテンツを活かした滞在メニューの充実

定山溪の各エリアの自然や施設、アクティビティといったコンテンツを組み合わせることで、各エリアを繋ぐ面的な滞在メニューの充実を図ります。

【取組例】

- ・コンテンツを組み合わせた滞在メニューの充実

■エリア別の例

エリア	組み合わせが期待されるエリア別コンテンツの例
エリア共通	・各エリアの泉質の異なる温泉や各施設のサウナ ・豊平川を活用したウォーターアクティビティ ・登山・トレッキング（朝日岳・夕日岳・札幌岳・無意根山等）
小金湯・八剣山	・小金湯温泉 ・文化体験（札幌市アイヌ文化交流センター） ・花見（小金湯さくらの森） ・キャンプ、登山（八剣山、周辺エリア） ・食（ワイナリー、果樹園）
豊平峡・薄別温泉	・豊平峡温泉、薄別温泉 ・景観（豊平峡ダム） ・キャンプ（定山溪自然の村） ・農業体験（果樹園）
札幌国際スキー場	・アクティビティ（札幌国際スキー場、さっぽろ湖） ・景観（定山溪ダム、さっぽろ湖、道道1号線）

- ・旧定山溪小学校の跡活用の検討

方向性3 季節の特色を活かしたコンテンツの充実

定山溪には、四季折々の多様なコンテンツが存在します。例えば、春には、紅葉のように植物が色づく春紅葉や、雪解け時期にだけ現れる滝、雪解け水による激流を利用したアクティビティなど、その季節ならではの観光資源があります。

こうした期間限定の観光資源をコンテンツ化することや、既存のコンテンツを磨き上げていくことも含めて、各季節の「売り」となるコンテンツを設定し、季節ごとのブランディングを確立していきます。

【取組例】

- ・ 既存のイベントの充実や、季節の特徴を活かしたお祭りなどの新たなイベントの検討
- ・ 季節の特色を活かしたコンテンツの充実

■季節ごとのコンテンツ例

季節	コンテンツ例
春	・ 溪流鯉のぼり ・ 雪解け水が流れる幻の滝、春紅葉 ・ 激流ラフティング ・ エゾエンゴサクやカタクリの一群 など
夏	・ JOZANKEI NATURE LUMINARIE ・ くだもの狩り（サクランボ、イチゴ、プルーン、りんご、ぶどう など） ・ カヌー、SUP ・ 菩提樹のはちみつ など
秋	・ 五大紅葉（ガイド付き観光バス、豊平峡ダム、札幌国際スキー場の紅葉ゴンドラ、など） ・ 紅葉サイクリング、トレッキング ・ 早朝カヌーから眺める紅葉 など
冬	・ 雪灯路 ・ 三笠緑地の雪遊び（そり） ・ かまくら体験 ・ 雪見ラフティング、ガイド付きスノーシュー など

基本方針3

戦略的なプロモーションの展開

■ 定山溪の観光魅力アップに向けた課題

課題① 新たな市場の開拓

課題② 客層の変化への対応

課題④ 滞在時間の延長

課題⑥ データに基づいた戦略づくりに向けた基盤整備

■ 基本方針のねらい

「データ分析に基づいた市場開拓」を重点施策とし、DMOが持つ観光データの収集・分析機能や、各関係団体との連携・調整機能を活用しながら、時代の流れを汲み取ったきめ細やかで効果的なプロモーション施策を展開し、新規市場の開拓やリピーターの増加に繋がります。

■ 基本方針の方向性

方向性1 戦略的なプロモーションの展開に向けた基盤の構築

来訪者の属性などの、定山溪全体の基礎的な観光データの充実を目的として、持続可能なデータ収集の仕組みを検討します。

また、収集したデータの分析を行い、地元観光関連事業者と共有するとともに、プロモーション戦略を企画立案することができる体制についても検討します。

【取組例】

- ・ 定山溪の観光データの充実に向けた、地元観光関連事業者の負担も考慮したデータ収集方法の検討
- ・ データ分析及び共有に向けた手法・役割の検討
- ・ データ分析に基づくプロモーション戦略の立案に向けた役割の検討

方向性2 ターゲットに応じたプロモーション戦略の立案

定山溪を訪れる観光客のデータ分析結果に基づき、定山溪全体の観光客の動向を把握したうえで、新規顧客の開拓と既存顧客の来訪頻度の増加、滞在時間の延長を目指して、ターゲットに応じた効果的なプロモーション戦略を立案します。

【取組例】

■ターゲットや滞在目的別のアプローチ

- ・マーケット別（札幌市民、道内、道外、インバウンド）
- ・世代別（若者、ファミリー、シニア等）
- ・目的別（温泉、グルメ、アクティビティ）
- ・シーズン別（桜、緑、紅葉、雪等）
- ・ターゲットや滞在目的に応じた適切な媒体を活用したプロモーションの検討
- ・旅マエ、旅ナカ、旅アトを意識した段階ごとのアプローチ

方向性3 プロモーションの展開と結果の検証

効果的なプロモーションを展開し続けるためには、実施したプロモーションの結果を分析し、適宜、プロモーション施策を改善していく必要があります。このため、プロモーション実施に向けたPDCAサイクルを行う体制を構築します。

また、継続的にデータを活用した戦略的なプロモーションを実施するためには、地元観光関連事業者の協力が不可欠であることから、情報を共有しながら、定山溪全体として取組を推進していきます。

【取組例】

- ・PDCAサイクルを推進する体制の構築
- ・収集したデータの分析に基づくプロモーションの成果、その他地元観光関連事業者にとって有益な情報の共有
- ・真駒内駅前まちづくりと連携した情報発信

方向性4 様々な主体を巻き込んだ情報発信

近年、飲食店の新規出店やアクティビティ事業者の進出などを契機に、定山溪を訪れる客層が広がりを見せています。来訪者に様々な魅力を提供し、高い評価を得られれば、その魅力が各種メディアに加えて、口コミ等で拡散され、さらに来訪者が増えます。そうした地域の盛り上がりが事業者へ伝わることで、新規事業者の参入や新サービスの提供など新たな投資を促進し、地域の魅力がさらに高まるという好循環が生まれます。

そうした好循環につながるよう、地域で情報共有を行いながら、様々な主体を巻き込んだ情報発信を行っていきます。

【取組例】

- ・ 地元観光関連事業者間における取組の共有と積極的な情報発信
- ・ 新規事業者の参入や新サービスの提供を促す支援の実施と、その情報発信
- ・ 事業者間の交流や情報発信につながるイベント等の開催

基本方針 4

交通アクセスの改善

■ 定山溪の観光魅力アップに向けた課題

- 課題① 新たな市場の開拓
- 課題② 客層の変化への対応
- 課題④ 滞在時間の延長
- 課題⑦ 定山溪までの交通利便性確保
- 課題⑧ 定山溪エリア内の交通利便性確保

■ 基本方針のねらい

「定山溪エリアの交通利便性の確保」を重点施策とし、定山溪までの交通アクセスや、定山溪内における移動手段の充実を図るとともに、それらの交通を受け入れる環境整備を行うことで、利便性・快適性を向上させ、来訪者の増加や滞在時間の延長を図ります。

■ 基本方針の方向性

方向性 1 定山溪までの交通アクセスの充実

札幌都心や地下鉄真駒内駅といった主要駅等から、定山溪までのアクセス手段の充実や、来訪者に対してアクセス手段の分散を促す取組を行うことで、季節変動にも対応し得る安定した輸送の確保を目指します。

また、来訪者が安心かつ快適に定山溪まで行けるような取組を推進することで、来訪者の満足度の向上に繋がります。

【取組例】

■ アクセス手段の維持・確保

- ・ 季節変動に応じた増便対応等に関連する交通事業者との連携強化(札幌駅からの直行バス等)
- ・ 宿泊施設等の送迎バスの共同化に向けた課題整理（基礎調査/実証実験の実施等）、運営体制の検討
- ・ 真駒内駅前の開発と合わせたバス発着スペースの確保の検討

■ 多様なアクセス手段の活用・分散促進

- ・ タクシー利用の促進
- ・ 地下鉄真駒内駅を経由するアクセス方法の周知と利用促進
- ・ 新千歳空港や、周辺観光地(小樽、洞爺、登別、ニセコ等)からの交通手段の確保に向けた関連する交通事業者との連携

■移動における快適性の向上

- ・手荷物別送サービスなど、快適性の向上や混雑緩和に資する取組の推進
- ・個人客を対象とした交通手段を含む旅行商品の開発

方向性2 定山溪内における移動手段の充実

来訪者の利便性向上や周遊促進のため、定山溪温泉街からの訪問需要が高い周辺観光エリアとのアクセスを強化します。

また、周遊すること自体の魅力を高めるための仕掛けとして、各観光スポットに応じた、多様な移動手段の導入に取り組めます。

【取組例】

■定山溪温泉街と周辺観光エリア間のアクセス強化

- ・積雪期における定山溪温泉街と札幌国際スキー場エリア間のアクセス強化
- ・無雪期における定山溪温泉街と豊平峡温泉エリア間のアクセス強化

■周遊の魅力向上

- ・目的地別の移動手段とルートの提案
- ・サイクリングルートの整備
- ・新たな移動手段の導入検討

方向性3 受入環境の整備

自家用車で定山溪を訪れる日帰り客や宿泊前後の方が利用できる駐車場を整備することで、自家用車でいつでも気軽に来訪できる環境を整えるとともに、来訪者の滞在時間の延長を図ります。駐車場の整備にあたっては、持続可能な運営を可能とするため、有料化を検討します。

また、定山溪までの交通手段と定山溪内の移動手段を繋ぐ場となる拠点の導入について検討します。

【取組例】

■定山溪温泉街における駐車場の整備

- ・有料駐車場の設置に向けた実証実験の実施（スポーツ公園駐車場を試行的に有料駐車場として運営）
- ・遊休地などを活用した駐車場整備の検討

■交通結節拠点の検討

- ・自家用車駐車場・バス発着地・定山溪内周遊の発着地等としての機能を持った交通結節拠点の導入検討
- ・観光案内所・休憩所等の附帯機能の導入を含めたあり方検討

第6章

観光魅力アップの推進に向けて

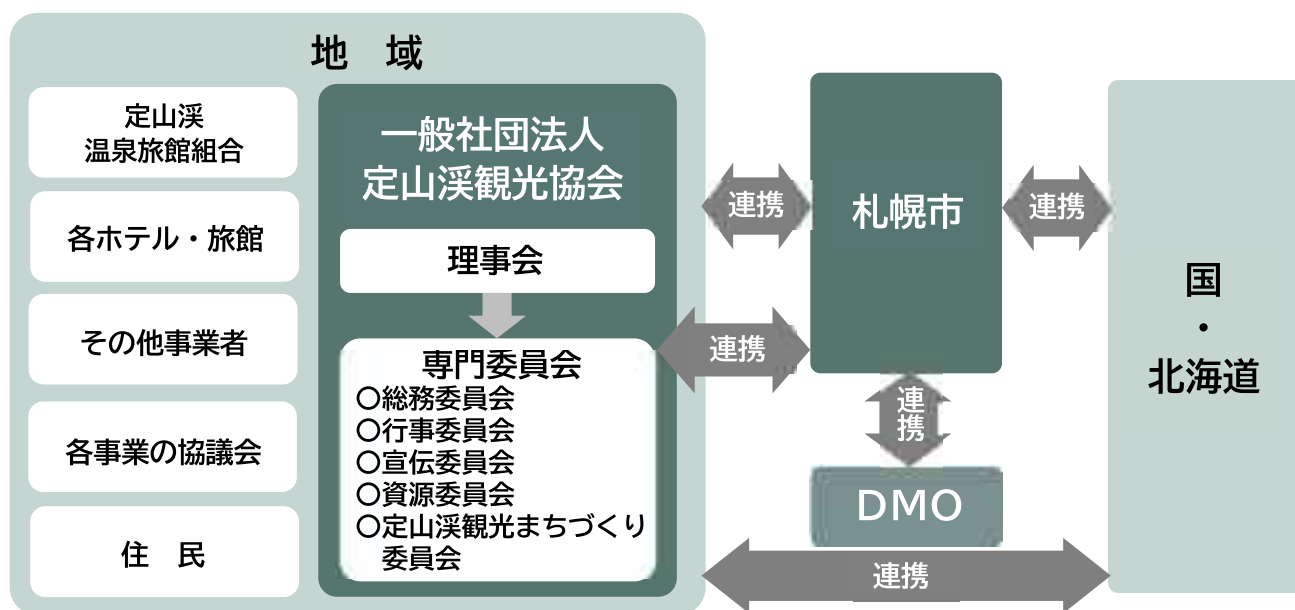
1 本構想の推進体制

第5章で掲げる基本方針1～4の推進及び定山溪における観光を取り巻く環境の変化に対応し、地域と札幌市及び国・北海道が本構想の進捗状況を共有するため、推進体制を強化します。

定山溪観光協会は、会長、副会長、理事等で構成される「理事会」の下、各種イベントの企画立案や観光宣伝施策の検討を行う「専門委員会」が設けられています。各委員会では会長または理事会で委任された事項を所管しています。

本構想においては、定山溪観光協会の各専門委員会と市の役割を整理するとともに、新たに設立されたDMOとの連携も視野に、推進体制を強化していきます。

また、定山溪観光協会における事務局機能についても、人員や体制などを含め強化を検討します。



※専門委員会の名称及び数はR 7年2月時点のもの

2 実施主体及び展開スケジュール

基本方針1～4で掲げる取組例の実施主体と展開スケジュールを掲載します。

なお、第5章で設定した重点施策に基づき、他の取組に先立って早期に着手する取組は、**早期着手** マークを付して明示しています。

基本方針・取組例	実施主体	短期的な取組例	中長期的な取組例
基本方針1 定山溪の魅力を感じる街並みと景観の維持・形成			
① 豊かな自然を大切にする景観まちづくり			
■かわまちづくり計画と連動した景観の形成			
・かわまちづくり計画による河畔園地の整備等 早期着手 早期着手	札幌市、空知総合振興局、定山溪観光協会(資源、まち)、定山溪地区(豊平川)かわまちづくり協議会	計画に基づく整備	適切な維持管理
・二見・渓谷ゾーンにおける、四季折々のうつろいや、生物・山野草を楽しめる環境・景観の形成	札幌市、石狩振興局、定山溪観光協会(資源)	適切な維持管理 二見定山の道の利活用促進	
■みどりの保全と創出			
・「三笠緑地」や「小金湯さくらの森」など緑地空間の維持向上	札幌市、定山溪観光協会(資源)	適切な維持管理	
・在来種の植栽等	定山溪観光協会(資源)	取組の充実	
② 歩いて楽しい賑わいとおもてなしを感じる景観まちづくり			
・指定路線や三笠・錦橋ゾーンにおける賑わいの連続性の創出(花やみどりによる演出、季節に応じた花や紅葉する樹種を選定した植栽、飲食店等の立地促進、滞留空間の設置検討等)	定山溪観光協会(資源)、その他事業者、地域住民	取組の充実	
・景観誘導区域における空き地・空き家調査及び利活用に向けた検討	札幌市、定山溪観光協会(資源)、定山溪温泉旅館組合、その他事業者、地域住民	検討	利活用の促進
・環境美化活動(ゴミ拾い、草刈り、除雪、植栽、等)の推進と維持管理体制の検討	定山溪観光協会(資源)、ホテル・旅館、その他事業者、地域住民	維持管理体制の構築 適切な維持管理	
・四季の景観を活かしたイベントの推進(溪流鯉のぼり、雪灯路など)	定山溪観光協会(行事)	取組の充実	
・あかりの演出による夜間景観の創出	定山溪観光協会(行事)、ホテル・旅館、その他事業者	屋外照明やライトアップなどによる取組の充実	
・国道230号沿い等におけるウェルカム感の醸成 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(総務、行事、宣伝)、定山溪温泉旅館組合、ホテル・旅館、その他事業者	歓迎フラッグ装飾などによる取組の充実	
③ 渓谷美を守り活かす景観まちづくり			
・かわまちづくり計画に基づく護岸整備にあわせた月見橋周辺の景観の改善及び河川敷等の利用ルール策定 早期着手	札幌市、空知総合振興局、定山溪観光協会(資源、まち)、定山溪地区(豊平川)かわまちづくり協議会	計画に基づく整備 適切な維持管理 ルールの策定、運用	
・眺望点等からの景観に影響を及ぼす物件等の把握及び改善に向けた検討	札幌市、定山溪観光協会(資源、まち)	検討	検討を踏まえた取組の充実
・河川敷等の日常的な維持管理の強化	札幌市、空知総合振興局、定山溪観光協会(資源、まち)、定山溪地区(豊平川)かわまちづくり協議会	維持管理体制の構築、取組の強化	適切な維持管理
④ 湯の町の成り立ちを継承する景観まちづくり			
・定山溪神社、定山寺、岩戸観音堂など温泉街の歴史を感じる資源が残る景観の維持継承	定山溪観光協会(資源)、その他事業者	取組の充実	
・湯の町ゾーン内の指定路線等における和の雰囲気演出	札幌市、定山溪観光協会(資源)、定山溪温泉旅館組合、その他事業者	取組の充実	
・温泉街らしさを感じさせる湯けむり、暖簾、行灯などによる演出	札幌市、定山溪観光協会(資源)、定山溪温泉旅館組合、その他事業者	取組の充実	

基本方針・取組例	実施主体	短期的な取組例	中長期的な取組例
基本方針2 エリアの特性を活かしたコンテンツの充実			
① 定山溪温泉街におけるゾーニングとコンテンツの磨き上げ			
■二見・溪谷ゾーン ～自然との触れ合い体験を重視			
・「二見公園」、「二見定山の道」 (二見吊橋～赤岩の洞)の利活用促進 早期着手	札幌市、石狩振興局、空知総合振興局、定山溪観光協会(資源、行事)、その他事業者	二見吊り橋など景観の維持管理	
・生物生息空間を活用した自然体験学習の取組の検討	定山溪観光協会(資源、行事)、その他事業者	取組の充実	
・アスレチック系アクティビティの検討	札幌市、その他事業者	アクティビティ調査検討	検討を踏まえたアクティビティの展開
■湯の町ゾーン ～温泉街らしい和の雰囲気、歴史を重視～			
・月見橋からの景観の維持向上とライトアップ等の演出	定山溪観光協会(資源、行事)	適切な維持管理、演出の検討	取組の充実
■白糸・定山溪大橋ゾーン ～定山溪を象徴する眺望点を活かした景観を重視～			
・定山溪大橋から望む溪谷と温泉街が調和した景観の維持向上、演出の検討(ライトアップ、周遊スポットとしての磨き上げなど)	定山溪観光協会(資源、行事)、定山溪温泉旅館組合、その他事業者	適切な維持管理、演出の検討	取組の充実
・足のふれあい太郎の湯から、定山溪大橋、玉川橋、白糸の滝までの周遊促進	定山溪観光協会(宣伝)、その他事業者	取組の充実	
■三笠・錦橋ゾーン ～グルメと自然の調和、賑わいと癒しを重視			
・グルメと自然を調和させた特色あるイベントの推進	定山溪観光協会(行事、宣伝)、その他事業者	取組の充実	
・錦橋・時雨橋からの景観の維持向上	札幌市、定山溪観光協会(資源)	適切な維持管理	
・三笠緑地の魅力向上やアクティビティ等での利用促進に向けた検討	札幌市、定山溪観光協会(資源、行事)、その他事業者	検討	検討を踏まえた取組の充実
・河川敷地をアクティビティ等で利用する際のルール策定 早期着手	札幌市、定山溪地区(豊平川)かわまちづくり協議会、その他事業者	ルールの策定	ルールの運用
② 定山溪エリア内のコンテンツを活かした滞在メニューの充実			
・コンテンツを組み合わせた滞在メニューの充実	その他事業者	取組の充実	
・旧定山溪小学校の跡活用の検討	札幌市、定山溪観光協会(まち)、地域住民	検討	活用
③ 季節の特色を活かしたコンテンツの充実			
・既存のイベントの充実や、季節の特徴を活かしたお祭りなどの新たなイベントの検討 早期着手	定山溪観光協会(行事、宣伝)、その他事業者	既存のイベントの魅力向上	新たなイベントの検討
・季節の特色を活かしたコンテンツの充実	その他事業者	その他事業者によるコンテンツの検討	その他事業者によるコンテンツの充実
基本方針3 戦略的なプロモーションの展開			
① 戦略的なプロモーションの展開に向けた基盤の構築			
・定山溪の観光データの充実に向けた、地元観光関連事業者の負担も考慮したデータ収集方法の検討 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)、定山溪温泉旅館組合	データ収集の検討	—
・データ分析及び共有に向けた手法・役割の検討	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	手法・役割の検討	—
・データ分析に基づくプロモーション戦略の立案	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	役割の検討	—
② ターゲットに応じたプロモーション戦略の立案			
・ターゲットや滞在目的別のアプローチ 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	—	①を踏まえた実施
③ プロモーションの展開と結果の検証			
・PDCAサイクルを推進する体制の構築	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	推進体制の構築 取組の充実	
・収集したデータの分析に基づくプロモーションの成果、その他地元観光関連事業者にとって有益な情報の共有 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	観光関連事業者が求めるデータ等の提供	
・真駒内駅前まちづくりと連携した情報発信	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	検討	
④ 様々な主体を巻き込んだ情報発信			
・地元観光関連事業者間における取組の共有と積極的な情報発信	定山溪観光協会(宣伝)、ホテル・旅館、その他事業者	情報発信等の継続	
・新規事業者の参入や新サービスの提供を促す支援の実施と、その情報発信	定山溪観光協会(宣伝)、ホテル・旅館、その他事業者	支援等の継続	
・事業者間の交流や情報発信につながるイベント等の開催	定山溪観光協会(宣伝、行事)、ホテル・旅館、その他事業者	交流機会の創出	

基本方針・取組例	実施主体	短期的な取組例	中長期的な取組例
基本方針4 交通アクセスの改善			
① 定山溪までの交通アクセスの充実			
■アクセス手段の維持・確保			
・季節変動に応じた増便対応等に関連する交通事業者との連携強化 (札幌駅からの直行バス等) 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(まち)、その他事業者	観光客専用バス運行等による交通アクセスの充実	
・宿泊施設等の送迎バスの共同化に向けた課題整理(基礎調査・実証実験の実施等)、運営体制の検討	定山溪観光協会(まち)、定山溪温泉旅館組合	検討 実証実験	検討を踏まえた取組の充実
・真駒内駅前の開発と合わせたバス発着スペースの確保の検討	札幌市、定山溪観光協会(まち)、定山溪温泉旅館組合	検討	
■多様なアクセス手段の活用・分散促進			
・タクシー利用の促進	定山溪観光協会(宣伝)	関係団体との連携強化によるタクシー利用促進	
・地下鉄真駒内駅を経由するアクセス方法の周知と利用促進	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	関係団体と連携した情報発信	
・新千歳空港や、周辺観光地(小樽、洞爺、登別、ニセコ等)からの交通手段の確保	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)	交通事業者と連携した取組の検討	
■移動における快適性の向上			
・快適性の向上や混雑緩和に資する取組の推進 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(宣伝)、定山溪温泉旅館組合	手荷物別送サービスなど手ぶら観光の促進	
・個人客を対象とした交通手段を含む旅行商品の開発	定山溪観光協会(宣伝)、その他事業者	旅行会社等との取組の検討	
② 定山溪内における移動手段の充実			
■定山溪温泉街と周辺観光エリア間のアクセス強化			
・積雪期における定山溪温泉街と札幌国際スキー場エリア間のアクセス強化	定山溪観光協会(まち)、その他事業者	スキーライナーの充実	
・無雪期における定山溪温泉街と豊平峡温泉エリア間のアクセス強化	定山溪観光協会(まち)、その他事業者	交通手段の検討	検討を踏まえた取組の実施
■周遊の魅力向上			
・目的地別の移動手段とルートの提案	定山溪観光協会(まち)	周遊手段の充実の検討	
・サイクリングルートの整備	札幌市、定山溪観光協会(まち)	検討	検討を踏まえた取組の充実
・新たな移動手段の導入検討 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(まち)	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
③ 受入環境の整備			
■定山溪温泉街における駐車場の整備			
・有料駐車場の設置に向けた実証実験の実施(スポーツ公園駐車場を試行的に有料駐車場として運営) 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(まち)、その他事業者	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
・遊休地などを活用した駐車場整備の検討 早期着手	札幌市、定山溪観光協会(まち)、定山溪温泉旅館組合、その他事業者	調査	調査を踏まえた取組の実施
■交通結節拠点の検討			
・自家用車駐車場・バス発着地・定山溪内周遊の発着地等としての機能を持った交通結節拠点の導入検討	札幌市、定山溪観光協会(まち)	検討	検討を踏まえた取組の実施
・観光案内所・休憩所等の附帯機能の導入を含めたあり方検討	札幌市、定山溪観光協会(まち)	検討	検討を踏まえた取組の実施

3 成果指標

第2次札幌市観光まちづくりプランで掲げる成果指標を踏まえ、本構想の成果指標を次のとおり定めます。また、成果指標の目標達成に関連する指標についても目標値を設定し管理します。

【第2次構想で掲げる成果指標】

成果指標		基準値※	目標値 (令和17年度(2035年度))	指標に 関連する 基本方針
定山溪の総観光消費額 (定山溪を訪れた国内外の日帰り・宿泊の 観光客を対象とする)		470億円	888億円	1, 2 3, 4
関 連 指 標	定山溪地域の延べ宿泊者数	925千人	1,284千人	1, 2 3, 4
	温泉街の街並みに魅力があ ると感じる人の割合	55.9%	70.0%	1
	周辺観光スポットが充実し ていると感じる人の割合	46.6%	60.0%	2
	北海道を訪れた観光客にお ける定山溪の認知度	調査数値	基準値より10%アップ	1, 3
	交通環境に関する満足度	調査数値	基準値より10%アップ	4

※ 基準値の「北海道を訪れた観光客における定山溪の認知度」「交通環境に関する満足度」は令和7年度(2025年度)の調査数値、それ以外は令和6年度(2024年度)の数値を採用。

4 進捗管理、成果の検証

統計数値は、毎年度更新し、成果指標の進捗管理を行うとともに、基本方針や施策展開に関連することから、継続してデータを収集し今後の検証に活用していきます。

これらの統計や社会経済情勢、成果指標、事業の進捗状況を照らし合わせながら、毎年度、定山溪観光協会と事業が適切に進行しているか検証を行います。検証の結果を踏まえ、必要に応じて新たな事業の追加や既存の事業の見直しを行うほか、データの収集方法を改善するなど、適宜対策を立案し、実行していきます。

1 策定経過

本構想は、以下のとおり計4回の次期定山溪観光魅力アップ構想検討会議を開催し、本構想の検討を行いました。

■検討会議の概要

開催日時 / 場所		議題
第1回	令和6年（2024年）6月21日（金） 11：00～13：00 心の里定山 ヒーリングラウンジ	・ 定山溪観光魅力アップ構想の振り返り ・ 定山溪地区の観光の現状と課題
第2回	令和6年（2024年）7月24日（水） 11：00～13：00 ホテル鹿の湯「鹿の SALON」	・ 第1回会議の振り返り ・ 定山溪観光魅力アップ構想の基本方針（案）
第3回	令和6年（2024年）9月9日（月） 14：00～16：30 旅籠屋 定山溪商店	・ 定山溪エリアのゾーニング（案）について ・ 基本方針（案）の深堀り（ねらい、方向性、主な取組）
第4回	令和6年（2024年）11月1日（金） 11：00～13：00 定山溪万世閣ホテルミリオーネ	・ ゲストスピーカーによる講演 ・ 次期構想のコンセプト、成果指標、進行管理等 ・ 持続可能な推進体制の構築 ・ 今後の検討の進め方、スケジュール



■検討委員（五十音順、敬称略）

氏名	所属など
岩佐 信	アイビーホスピタリティホテルズ&リゾート 事業開発マネージャー
陰元 潤一	一般社団法人定山溪観光協会 理事、定山溪連合町内会 会長 (株式会社松の湯旅館 代表取締役社長)
金川 浩幸	一般社団法人定山溪観光協会 副会長、定山溪温泉旅館組合 組合長 (株式会社ホテル鹿の湯 代表取締役社長)
高野 伸栄	北海道大学工学研究院土木工学部門 教授
中西 幸弘	中定建設工業株式会社 常務取締役
布村 英俊	一般社団法人定山溪観光協会 副会長、定山溪温泉旅館組合 副組合長 (株式会社第一寶亭留 代表取締役社長)
濱野 清正	株式会社萬世閣 代表取締役社長
古川 雅朗	一般社団法人定山溪観光協会 会長、(株式会社定山溪物産館 代表取締役)
古川 善浩	一般社団法人定山溪観光協会 副会長、定山溪温泉旅館組合 副組合長 (株式会社ぬくもりの宿ふる川 代表取締役)

■オブザーバー（五十音順、敬称略）

氏名	所属など
遠藤 浩	北海道 環境生活部 自然環境局 自然環境課 自然公園担当課長
太田 博之	札幌市 南区 市民部 定山溪出張所 所長
酒井 聡佑	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 都市圏道路計画課 課長
櫻庭 佑輔	環境省 北海道地方環境事務所 支笏洞爺国立公園管理事務所 所長代理
松本 香織	北海道 石狩振興局 保健環境部 くらし・子育て担当部長
松本 範之	北海道 空知総合振興局 札幌建設管理部 事業室 事業課 課長